

「環境リーディングシティ鹿児島」の実現を コミュニティサイクル「かごりん」が推進

鹿
児
島
市
長

森
博
幸

鹿
児
島
市
長

「
自
転
車
・
バ
イ
ク
・
自
動
車
駐
車
場
パ
ー
キ
ン
グ
プ
レ
ス
」
誌
発
行
人

森
井
博

「
自
転
車
・
バ
イ
ク
・
自
動
車
駐
車
場
パ
ー
キ
ン
グ
プ
レ
ス
」
誌
発
行
人

【プロフィール】

森 博幸(もり ひろゆき)

1949年10月30日、鹿児島県鹿児島市生まれ。横浜市立大学商学部卒業後、1974年4月鹿児島市役所入庁。財政部長、総務部長、総務局長を歴任し、2004年11月、鹿児島市長選で初当選を果たし、以降現在まで4期連続で市長を務める。好きな言葉は「誠心誠意、人事を尽くして天命を待つ」。趣味は家庭菜園、スポーツ観戦。



2017年10月18日、東京都品川区でもコミュニティサイクルのサービスが開始され、将来的には都心6区で行われている相互乗り入れへの参加も検討していくという。東京2020大会に向けて、都内で着々とコミュニティサイクルのネットワークが構築されているわけだが、その一方で地方においても着実に普及、活況を呈している事例がある。

なかでも成功例として数えられているのが、鹿児島市が平成27年3月1日から本格導入した「かごりん」だ。平成29年3月に国土交通省が公表した情報によると、全国87都市で実施されているシェアサイクル（平成28年10月1日時点）の回転率の平均は、約0.7回／台・日。しかし、かごりんは2.2回／台・日と高い数値を示しているうえ、今年9月には延べ利用回数が37万回に達している。

この背景には何があるのか。鹿児島に飛び、森博幸鹿児島市長に話をうかがった（対談収録：2017年9月29日）

かごりん成功の最大要因は シンプルな利用システムにある

森井 本日はお時間をいただきありがとうございます。今年の3月15日に行われた全国コミュニティサイクル担当者会議において、鹿児島市環境局様の「かごりん」プレゼンが非常に興味深い内容だったことが端緒となって、本日、この機会を頂戴しました。市長と私は名前もかなり似ているので、これも何かの縁ではないかと（笑）。どうぞよろしくお願い致します。

森 こちらこそよろしくお願い致します。

森井 ではまず、鹿児島市が取り組む自転車関係施策推進の考え方からお話いただけますでしょうか。

森 私は平成16年に鹿児島市長を拝命して以来、環境にやさしいまちづくりをひとつの市政の柱に据えて参りました。

平成22年3月には、コンパクトな市街地を形成する集約型都市構造の実現に向け、クルマに過度に依存せず、公共交通を軸にした交通体系を構築するため、「鹿児島市公共交通ビジョン」を策定しました。

森井 そのビジョンは具体的にどのような内容でしょうか。

森 基本方針の1つに掲げているのが「安全・快適で人と環境にやさしい交通環境の整備」で、その重点戦略のひとつに「歩行者・自転車を優先した通行環境の整備」を位置づけ、自転車駐車場の適正配置や自転車走行空間のネットワーク化などに取り組んでいます。

森井 達成の目安としているのはいつ頃でしょうか。

森 平成33年度としています。「自転車で走りやすいまち・かごしま」の実現を目指して、安全性・利便性の向上の観点から関係機関と一体となり、施策を推進しています。

森井 なるほど。では、かごりんは「自転車で走りやすいまち・かごしま」を象徴する存在になるわけですね。コミュニティサイクルを導入した狙いについて教えていただけますか。

森 主に三つの目的、役割がありまし

た。まずは「環境にやさしい持続可能なまちの実現」ということで、クルマ移動から「自転車プラス公共交通」へのシフトを進め、温室効果ガス排出量の削減、マイカー通勤を減らすことで期待できる交通渋滞の緩和を目的としました。

森井 二番目は何でしょうか。

森 中心市街地の活性化です。鹿児島市には、目前に桜島が浮かぶ錦江湾、背後にはシラス台地の丘陵地があり、平地が狭いという地形的な特徴があります。その中に集積する商業施設・公共交通などをかごりんで有機的に結び付け、回遊性を高める狙いです。そして三番目は市街地に点在する観光施設の周遊を支援すること。観光客の利便性を高めて観光振興をさらに促そうという考えです。

森井 かごりんは全国のコミュニティサイクルの中でもトップクラスの成功を取っています。その理由をどのように分析していますか。

森 最大の要因は”利用者目線”のシンプルで利用しやすいシステムだと考えています。事前登録不要で各サイクルポートの端末タッチパネルで簡単に利用手続きができること、現金決済にも対応して100円玉2枚で1日利用できる手軽さなども好評であり、事実、料金決済の8



鹿児島市のシンボル、桜島を仙巖園から望む。仙巖園は1658年に第19代薩摩藩主・島津光久が別邸として築庭したもの。桜島を築山に、錦江湾を池に見立てた壮大なスケールの借景庭園で、国の名勝に指定されている（写真提供：鹿児島市）



割は現金であると聞いています。さらに外国人観光客対応として端末タッチパネルの多言語や、HPで各ポートの満空情報が簡単にチェックできることも一因でしょう。

電気自動車による再配置で 真正銘の「環境にやさしい」 コミュニティサイクルに

森井 サイクルポートの立地もカギを握っているとお見受けしました。

森 はい。中心市街地の交通結節点や観光拠点などをカバーし、公共交通との乗り継ぎのしやすさにも配慮して、市内21ヵ所に設置しており、全ポートで24

時間・年中無休で貸出・返却が可能です。最新のニュースとしては、10月4日には鹿児島大学の郡元キャンパスと下荒田キャンパスに計2つのポートが設置され、運用を開始します。

森井 続いてソフトの面における取り組みについて教えてください。

森 かごりんの管理運営事業者である、株式会社JTB九州の観光業での強み・ノウハウを活用した取り組みが効果を上げています。サイクルポートの場所と、かごりんで散策できるお薦め観光スポットの情報を載せた「マップマガジン」を作成し、観光案内所や観光施設、ホテルなど約40ヵ所に配置したほか、JTBが発行する「るるぶ」「まっぶる」での特集記事掲載、さらにPR動画配信も行っていました。ちなみにJTB九州にとって、コミュニティサイクルの管理運営はかごりんが初めてということで、かなり注力して取り組んでいただいていると思います。

森井 どのコミュニティサイクルでも課題となるポート間の再配置についてはどんな取り組みをされていますか。

森 平日と休日、通勤時間と帰宅時間などこれまでの運営実績で得た利用頻度に関するデータを考慮し、適切な配置を行っています。ちなみに再配置に使っている自動車は日産自動車株式会社から3年間の無償貸与を受けた電気自動

車を使っています。

森井 おお、それは素晴らしい。環境にやさしいコミュニティサイクルなのに、再配置に使う自動車はガソリン車である矛盾をはらむ取り組みが多い中、かごりんはその点でも完璧ですね。

森 ありがとうございます。

プロスポーツチーム、 マラソンイベントとの コラボ推進も奏功

森井 かごりんはさまざまな主体やイベントとのコラボにも取り組んでいるとお聞きしました。

森 はい、鹿児島市はJリーグのジュビロ磐田、松本山雅FCのキャンプ地になっていまして、宿泊ホテルと練習グラウンドの移動手段としてかごりんを提供し、選手の使い心地などのコメントをHPや一部ポートに設けたデジタルサイネージで紹介し、利用促進を図りました。また、世界文化遺産の構成遺産がある地域でまちづくりに取り組んでいる団体が「かごりんで行く近代化遺産関連のお宝めぐりツアー」を企画、実施しまして、これも効果的だったと思います。このツアーでは、地域住民も見逃していたような地域の文化や魅力が再発見されたと聞いています。

森井 かごりんが新たな観光資源の発掘にも一役買ったわけですね。

森 さらに、12,000人のランナーが駆けぬける鹿児島マラソンの大会スタッフの運営支援用にかごりんを貸し出しているほか、一般ランナーがコースの試走や周辺観光地のチェックに使う用途も鑑みてHPに案内を掲載しています。加えて南九州随一の繁華街である「天文館」で毎年冬に開かれる一大イルミネーションイベント「天文館ミリオネーション」でもかごりんの利用を促進しています。

森井 なるほど。天文館を中心に周辺観光地もかごりんで巡ることができますね。



①



②



③

① 10月4日に運用が開始された鹿児島大学郡元キャンパス内のかごりんポート ② 再配置に電気自動車を活用し、化石燃料に依存しない運用システムを実現 ③ 鹿児島市民、観光客の移動手段として定着したかごりん(すべて写真提供:鹿児島市)

森 ところで森井さん、今度は私から質問したいのですが、かごりんの車体は何色か、ご存じですよね？

森井 緑色ですよ。

森 はい。そのとおりで厳密には「パールグリーン」と言います。ただ、実は全174台のうち、1台だけピンク色が混じっているのです。平成28年8月に延べ利用回数が20万回に達したことを記念して導入したプレミアム自転車で、管理番号77にちなんで「NaNa(ナナ)」と名付けました。

森井 それは面白い。鹿児島市の遊び心を感じます。

森 ホテルや商店街のSNSでも取り上げられ「見かけると幸せになれる」などひそかな話題を呼んでいます。

森井 なるほど。では今度、延べ利用回数が40万回に到達したあかつきには、鹿児島の特産品である黒豚、黒牛、黒薩摩鶏などにちなんで「ブラックかごりん」を導入してはどうでしょうか(笑)

森 ははは、それは面白い。検討してみましよう。

自転車の前輪・後輪の関係になぞらえた「自転車走行ネットワーク整備計画」

森井 では続いてかごりんを含む自転車の普及・促進に不可欠な、自転車が走る環境についてもお聞きしたいと思います。鹿児島市では既に、自転車の前輪・後輪の関係になぞらえた「自転車走行ネットワーク整備計画」を策定されているとおうかがいしたのですが。

森 平成25年に策定したものです。クルマから自転車への転換による環境負荷の低減や、自転車で走りやすいまちづくりを進めるため、安全で快適な自転車走行空間の整備を進めることによってネットワーク化を図ります。基本方針は歩行者・自転車・自動車が安全、快適に通行できる環境の創出や、自転車走行

のルール遵守の徹底を掲げています。

森井 具体的な取り組み内容や進捗について教えてください。

森 中心市街地と周辺部を対象に選定した78のネットワーク路線について、車道を活用した自転車専用通行帯や歩道を活用した自転車通行位置の明示などの整備を進めていきます。平成33年までに国道、県道、臨海道路を含む約49kmの整備を行う計画で、28年度末までに20.1kmが完了しています。また、未整備区間については優良な財源確保を行うとともに、関係機関である国、県の道路管理者や警察と連携して未整備区間整備に取り組んでいきます。

森井 自転車を活用する環境整備では、走行空間に加えて、自転車等駐車場も大切になってきます。鹿児島市の現状はいかがでしょうか。

森 平成8年に策定した「鹿児島市自転車等の駐車対策に関する条例」に基づいて自転車等の利用者の利便性と駐車秩序の向上を図るために、有料の自転車等駐車場を10カ所、無料を11カ所、それぞれ設置致しました。また、利用マナー



等の周知・啓発にも取り組み、放置自転車等の指導・撤去を行うことで交通の円滑化、良好な生活環境を確保して市街地の活性化に寄与してきました。

森井 なるほど。では自転車等駐車場の付加価値についてはいかがでしょうか。従来は単純に駐輪する場所、という認識でしたが、近年では「交通結節点」「人の流れの起点」「公共的施設・都市施設としての機能」「観光・買い物など



④平成28年8月に加わった唯一のピンク色のかごりん「NaNa(ナナ)」⑤管理運営事業者である株式会社TB九州が作成したマップマガジン。かごりんの振興に一役買っている⑥着実に進む「自転車走行ネットワーク整備計画」。平成33年までに国道、県道、臨海道路を含む約49kmの整備を行う予定(⑤⑥の写真提供：鹿児島市)



の情報発信地点」「防災活動の拠点、防災情報の提供地」などさまざまな付加価値を備える自転車等駐車が各地に登場しています。こうした事象に対してはどのような見解をお持ちですか。

森 天文館や九州新幹線のターミナルである鹿児島中央駅の周辺など、人の流れや交通が集中するエリアにおける自転車等駐車の環境整備に取り組んでいるところ。今後は従来の自転車等駐車の機能にとどまらず、人とまちをつなぐためのスポットとして、他都市での事例を参考にしながら、周辺観光施設や商店街イベントの情報発信機能を付加するなど、中心市街地の活性化につながる新たな可能性を探りたいと考えています。

鹿児島県条例で 子どものヘルメット着用、 損害保険加入義務付けも推進

森井 自転車に乗りやすい環境整備といえば、乗り手側の安全利用の意識を向上させていくことも大切です。これについてはどんな取り組みをされていますか。

森 安全利用促進のため、本市が国際認証を受けた「セーフコミュニティ」の取り組みとして、自転車乗車中の子どもの交通事故減少に向けて地域住民が主体となった交通安全教室を実施しているほか、教育指導員による交通安全教室、各季の交通安全期間等における街頭キャンペーンを展開しています。また、今年

10月から施行される子どものヘルメット着用や損害賠償保険への加入を義務付けた県条例「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」の周知・広報にも取り組んでいます。

森井 その条例は良いですね。ヘルメットを着用する自転車乗りの姿がまちに増えれば、市民のマナー遵守の意識が大いに高くなることに期待できます。損害保険についても、全国的に自転車が絡む交通事故によって高額な賠償事例が報告されているだけに、非常に大切な取り組みだと思います。では、今年5月に国によって施行された「自転車活用推進法」について市長が期待されること、鹿児島市として取り組むべき課題などがありませんでしたら教えてください。

森 同法が基本方針として掲げている「自転車専用道路・自転車専用通行帯等の整備」「シェアサイクル施設の整備」「交通安全に係る教育および啓発」「自転車と公共交通機関との連携の促進」などの施策を重点的に検討・実施する点は、本市の施策と同じ方向性です。今後、本市として各種の自転車に関する取り組みを進めていくにあたり、国においては財政上の措置として活用できる財源の確保や先進事例に関する情報発信等、より一層の環境整備を期待したいと考えています。

森井 コミュニティサイクルの成功事例であるかごりんを擁する鹿児島市の取り組みは、自転車活用推進法を全国に浸透させていくうえで非常に大切な役

割を果たすと考えます。

森 はい。気を引き締めて取り組んでいく所存です。

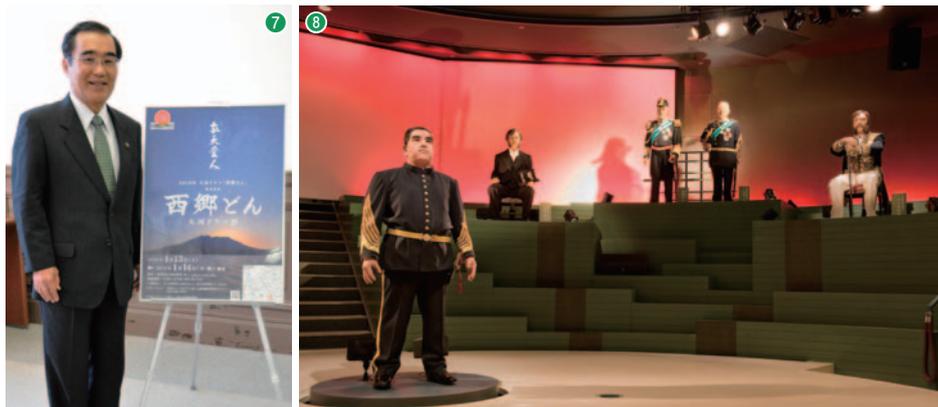
NHK大河ドラマ『西郷どん』 インターハイ、国体… かごりんの利用促進に期待

森井 最後に、改めて鹿児島市の自転車利用促進についての抱負をお聞かせいただけますか。

森 自家用車から自転車へ乗り換えた市民がその効果を実感できるような仕組みをつくっていきたいと思います。つまり、地球環境に与える影響を分かりやすく伝え、環境に配慮したライフスタイルの「見える化」を進め、日常的に自転車を使おうという気持ちを促すということです。また、観光客などの来訪者に対してかごりんをPRし、市内に点在する観光資源などを訪れる際に、徒歩とも、観光周遊バスとも違う自転車ならではのまち巡りの面白さを提案していただくことも大切です。実際に乗っていただいて、自転車が利便性・回遊性が高く、鹿児島市の魅力の再発見につながるツールであることを体感していただきたいです。

森井 そうした体験をする方が増え、鹿児島市内をかごりんで巡ることの面白さがどんどん口コミで広まっていくと理想的ですね。

森 そのとおりです。そして市内の至る所がかごりんのパールグリーンが走



⑦平成30年からはNHK大河ドラマ『西郷どん』の放映がスタート。これまで以上に鹿児島市を訪れる観光客が増加することが予想される
⑧幕末の薩摩や日本の様子や明治維新を支えた英雄たちの姿を展示する観光施設「維新ふるさと館」。館内で上演されるドラマ「維新への道」(写真)も好評だ(写真提供：鹿児島市)

特集

り回ることが「鹿児島市が人と環境にやさしいまち」であることのパロメーターになるでしょう。かごりんの利用促進が、ひいては自転車全体の利用を促進し、持続可能で環境負荷の低いまちづくりにつながるものと思います。

森井 しかも鹿児島からは来年以降、全国区のニュースが立て続けに発信されますよね。

森 はい。来年の平成30年は明治維新からちょうど150年であり、NHKの大河ドラマ『西郷(せご)どん』の放送が開始されます。そしてその翌年にはインターハイ、さらにその翌年には鹿児島国体と大規模なイベントが続くため、鹿児島にはますます多くの方がいらっしゃることが予想されます。特に大規模なスポーツイベントの開催にあたり、ホテル等が集中する市街地や公共交通との結節点から、スポーツ施設が集中する地域への移動や、複数にわたる競技会場間の移動にかごりんは最適です。活用していただければ温室効果ガスの排出抑制、会場周辺の交通渋滞の緩和も



対談は鹿児島市役所本庁舎の市長室で行った。テーブルの端には西南戦争の際に射込まれた弾丸が残っており、改めてこの地の歴史を感じさせた

図られて「人と環境にやさしいスポーツイベント」となり、スムーズな大会運営の一助になるでしょう。ともあれ、鹿児島市は鹿児島県の玄関口だけに、かごりんの需要もますます高まることに期待しています。

森井 「環境」を軸に展開されてきたかごりんの回転率がさらに向上し、今後も持続されていくことを確信しています。

森 ありがとうございます。これからも「環境リーディングシティ鹿児島」の実現を目指し、人と環境にやさしい自転

車の利用促進につながる環境整備や情報発信をもっと進めていくつもりです。鹿児島市においでの際は、かごりんを相棒にして南国の心地よい風を感じてください。そして豊かな自然や多彩な食文化、誇り高い歴史など、鹿児島の魅力を余すところなく体験していただければと思います。

森井 分かりました。私もかごりんと鹿児島市の取り組みに大いに期待しています。本日は貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございました。 PP

【パーキングプレス 発行人】 森井 博のプロフィール

- 一般社団法人 日本パーキングビジネス協会 理事長
- 一般社団法人 自転車駐車場工業会 会長
- 一般社団法人 日本シェアサイクル協会 専務理事
- 東京八重洲ライオンズクラブ 会員
- 六本木男性合唱団 団員
- サイカパーキング(株)、日本駐車場救急サービス(株)、モーリスコーポレーション(株) 夫々代表取締役CEO

【略歴】 1938年(昭和13年)宮崎県延岡市生れ79歳。
1957年(昭和32年)石川県立金沢泉ヶ丘高校卒
1961年(昭和36年)東京商船大学(現東京海洋大学)卒
1961~1979年 石川島播磨重工業(現:IHI)
1979~1991年 東芝
1991年~現職

【趣味】 現在: ゴルフ・車・自転車・歌・仕事
過去: 水泳・野球・陸上競技・テニス

【遍歴】 ゴルフ: 毎週1回ホームコースでラウンド、週1~2回練習場通い。
車: 毎日通勤で運転。中古車3台を大切に乗り廻す。
自転車: マツダレベル、プリチストンモルトン、プロンプトン他数台保有するも年齢を考え乗り廻さない。
歌: 六本木男性合唱団でロクに楽譜も読めないのに毎週練習に励む。
仕事: 健康のため平日は毎日9:00~17:00出勤、社員に迷惑をかけている。但し、土、日、祝日は絶対に出社しない。
水泳: 漁港で漁師の子供達と一緒に育ったため、小学校に入る前から泳ぎは得意。ちなみに小学校の名前は延岡市立港小学校。
野球: 中学生までは本気でプロになるつもりであった。元西鉄ライオンズ 故・稲尾和久投手、完全試合投手 田中勉、元巨人 淡河弘捕手は友人。元巨人監督 原辰徳氏の父 故・貢氏も友人でボクサー犬を買った仲。
陸上競技: 高校時代 短距離、やり投げ、インターハイ2回出場。東京陸協元会長でオリンピック3回出場の大串氏とは友人
テニス: 元デ杯選手 本井満氏のコーチでかなりの腕前(?)になるも、45歳時アキレス腱断裂でプレー終了。

過去の対談ゲストの方は、WEBでご紹介しています

パーキングプレス 対談 で検索

または <http://www.parkingpress.jp/taidan/> にアクセス

対談記事のバックナンバーもご覧いただけます。

